

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理学と心理的支援 (心理学概論)		必修 (福)	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
前川 真奈美	B304	manami.maekawa	月曜日 10:40~12:40		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt; 心理学とは、人間の行動とその背後にある心理過程を科学的な方法で理解しようとする学問である。本講義では、医療・福祉の現場で専門家として人を支援するために必須となる、心理学の基礎知識を学ぶとともに、心理学に基づく対人援助の方法と実際について理解することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt; 本講義では、心理学の多彩な研究領域においてこれまでに得られている代表的な知見を概説する。さらに、臨床心理学の基礎を講義するとともに、心理療法各論を解説する。</p>				
学習上の助言	講義内容に関する質問は、オフィスアワーの他に、講義中およびリアクションシートでも受け付ける。積極的に活用して理解を深めてほしい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	心理学理論と心理的支援 (最新・社会福祉士養成講 精神保健福祉士養成講座 2)/編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規/2021 年 (*社会福祉士・精神保健福祉士を受験予定の場合は、資格試験対策のために購入を推奨) 心理学 新版(New Liberal Arts Selection)/著: 無藤隆 他/有斐閣/2018 年				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学の諸分野の基本的な概念を理解し、体系的に説明できる。			HSU(2)、WP(5)	
②	心理学に基づく対人援助の方法と実際について理解し、体系的に説明できる。			HSU(3)、WP(1)~(5)	
③	本講義で習得した知識を自分自身の経験と結びつけ、自らをとりまく環境や日常的な現象について考察し説明できる。			HSU(1)(5)、WP(1)~(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション:心理学とはどのような学問か、心理学の歴史について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
2	パーソナリティ心理学 1:代表的なパーソナリティ理論について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
3	パーソナリティ心理学 2:パーソナリティ検査によるアセスメントについて学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
4	感情・情動:感情・情動の仕組みに関する古典的な理論について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
5	欲求と動機づけ:「やる気」の仕組みについて学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
6	感覚・知覚心理学:人はどのように世界をとらえているのかについて学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
7	認知心理学:記憶のメカニズムについて学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
8	学習心理学:行動が変化する仕組みについて学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
9	個人差の心理学:知能のとらえ方や知能検査について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
10	社会心理学: 他者の存在が人の態度や行動にどのような影響を及ぼすのかについて学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
11	発達心理学:生涯発達の考え方について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
12	適応とストレス:ストレスの仕組みについて学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
13	臨床心理学 1:精神分析、クライエント中心療法について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
14	臨床心理学 2:認知行動療法について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	
15	カウンセリング:傾聴の技法について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。	4	

【2021 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	5	45
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	10	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する。定期試験では、心理学の専門用語に関する設問(選択式)と、講義で扱った心理学の知識を用いて日常的な事象を読み解き、学生自らの考えを交えた解説を求める設問(論述式)を出題する。				Microsoft Teams を利用して、総評や個別のフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の講義終了時に Teams 上でリアクションシートの提出を求め、課題への解答、講義内容に関する気づき、発見、疑問などを記述してもらう。内容の妥当性や、問題発見能力を評価する。				次回の冒頭に、課題の総評やコメントへのフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>* 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。</p> <p>* 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。</p> <p>* 本講義は面接授業だが、<b>毎回、課題提出等には Teams を利用</b>する。スムーズに使用できるように練習しておくこと。</p> <p>* 講義中に、自分の考えを発表する場や学生間の意見交換の場を設ける予定である。他者の考えを知ることのでられる気づきや発見もあるため、積極的な態度で受講することを望む。</p> <p>* 本科目は社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師の受験要件に必要な科目である。(社会福祉士および精神保健福祉士の指定科目「心理学と心理的支援」と、公認心理師の指定科目「心理学概論」に相当)</p>							
<p><b>教員の実務経験:</b> 公認心理師資格を有し、2年間の現場経験を有する。</p> <p><b>実践的授業の内容:</b> 専門性とこれまでの経験を生かし、実践的な情報を交えながら授業を進める。</p>							